

Iターン移住者が林業経営者になるまで

～柳澤林業 原薫さんのこれまでの歩みと未来のビジョン～

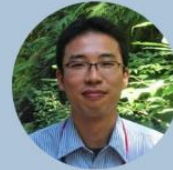


原薫さん
株式会社 柳澤林業 代表取締役
一般社団法人 ソマミチ 代表理事

2020年2月1日（土）14：00～16：30

文京シビックセンター 5階会議室C
一般：1000円／会員・学生：500円

ー 森林社会学研究会連続講座「森から人へ 人から森へ」第17回ー
NPO法人 森づくりフォーラム・森林社会学研究会



聞き手
相川 高信さん
林業政策アントレプレナー



日本社会の持続可能性を考えていく上で、人口減が進み、東京一極集中の現況をどうしていくかは大きな課題になっています。

一方で平成 26 年の世論調査によると、農山漁村地域に定住してみたいという都市住民が増加している傾向にあります。

近年はI・U ターン、地域おこし、複数拠点移住など、農山村地域との新しいつながり方・暮らし方も多様性を増してきています。

今回ご講演いただく原薫さんは現在のムーブメントに先駆け、神奈川から静岡へ移住し、林業作業員の経験を経て、現在は長野へ居を移し、柳澤林業を運営されています。また林業経営以外にもヨガ講師、狩猟など森林の利活用に関わる様々な取り組みを実践されています。

原さんに移住・事業承継のきっかけや思い、そして多角的な取り組みやこれからのビジョンについてお話ししたいと思っています。

講演者プロフィール

原 薫（はら かおる）さん 株式会社 柳澤林業 代表取締役 一般社団法人 ソマミチ 代表理事

1973 年神奈川県川崎市生まれ。筑波大卒業後、1997 年静岡市井川森林組合に就職し、林業の道へ。1999 年に長野県に移住し、2003 年柳澤林業入社、2013 年より現会長より事業承継し代表取締役に就任。木材生産を中心に新たな林業の可能性を模索中。また、2017 年一般社団法人ソマミチを設立し、「木を使う社会の仕組みづくり」を目指す。

聞き手

相川 高信（あいかわ たかのぶ）さん 林業政策アントレプレナー

京都大学にて森林生態学を専攻後、民間シンクタンクにて、森林・林業分野の調査・コンサルティングに幅広く従事。2015 年より「フォレスター・ギャザリング」を立ち上げ、運営メンバー。現在は公益財団法人にて、バイオエネルギーの政策研究を行う傍ら、全国の林業仲間との交流を続け、新たなレイヤーでの制度を探求している。2016 年、人材育成をテーマに、北海道大学大学院農学研究院より博士号を取得。